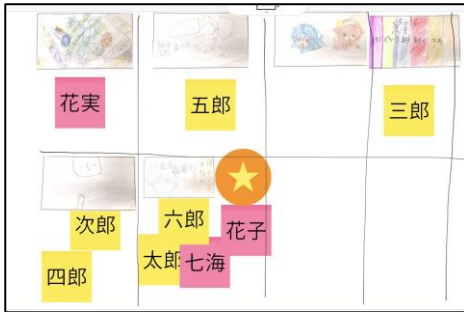


1人1台端末の活用による実践事例

(特別支援学校)

学校名	岡山県立誕生寺支援学校	実践者名	井手野 克俊
実践場面 (教科、領域、行事等)	学級活動		
単元・題材名	運動会のクラス旗をつくろう		
学習目標・ねらい	・話し合いを通じて意見を出したり受け入れたりすることができる。 ・クラスの友達と運動会に向けて準備をしようとする事ができる。		
対象の児童 生徒の実態	・知的障害部門高等部3年生 ・パワーポイントやプリントの資料を見たり、説明を聞いたりして、活動内容を概ね理解することが出来る。 ・画像検索をして、保存することはできるが、編集したり、アプリを用いて組み合わせたりすることは難しい。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
○本時の流れ (1) 個人でプリントに下書きをする。 ・iPad を用いて画像を検索したり、言葉を調べたりする。 (2) 前のホワイトボードに貼り、お互いのデザインを見る。 (3) 大まかなデザインを決める。 ・Jam board を用いて、良かったと思うデザイン番号のところに、自分の名前の付箋を貼り付ける。 (4) デザインを具体化する。 ・教員の iPad をプロジェクターに繋ぎ、全員が見られるようにしておく。 ・背景、キャラクターの画像など、生徒からの意見に近い画像を検索し、共有しながら決定していく。 ・取り込んだ画像をスライドのアプリ上で貼り付けて、重ねたりテキストを挿入したりしていき、生徒はそれを見ながら細かく調整をする (5) 旗に下書きをする。			
活用のポイント・改善策等			
(成果) ・オリジナルのデザインを考えるのが難しい生徒は検索をすることにより、考えたり選んだりすることができた。 ・iPad を操作する楽しさを感じ、自主的に学習活動に取り組むことがきた。 ・Jam board を見ることで、全員の意見を簡単に把握することができ、机間指導に活用することができた。 (課題) ・スライドアプリを使いこなしておらず、教員が生徒の意見を聞いて操作した。			